

令和 5 年 6 月 6 日現在

機関番号：62601

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K02324

研究課題名（和文）「チームとしての学校」を機能させるマネジメントシステムの開発に関する日英比較研究

研究課題名（英文）A comparative study between Japan and England on the development of a management system that makes "school as a team"

研究代表者

植田 みどり (Ueda, Midori)

国立教育政策研究所・教育政策・評価研究部・総括研究官

研究者番号：20380785

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、多様な専門性を有した人材によって構成される教職員組織を効果的に活用し、学校の教育効果を向上させるためのマネジメントシステムを開発することを目的としている。イギリスのティーチングアシスタント（TA）に着目した。TAに関する政策文献、資料及び、イギリスでのDISS及びMITA、学校等への訪問調査を通して、学校での効果的な多業種間連携を行うためには、学校管理職及びTA等の人材育成システムを確立すること、TAの職務内容の明確化及び運用のための運用システムを確立すること、学校外での学校への支援システムを整備することを明らかにすることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、これまで制度的なことを中心に紹介されてきていたイギリスの教員以外の職の制度について、その制度がどのように学校現場で運用され、どのような成果と課題を有しているかを明らかにしたことである。

社会的意義は、働き方改革が進められる中で、教員以外の多様な職が量的に拡大している日本において、その職をどのように効果的に活用して、学校の労働環境整備につなげていくのかという政策課題を検討する際の方向性を提示しているという点にある。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research is to develop a management system for improving the educational effect of a school by effectively utilizing the faculty and staff organisation composed of human resources with diverse specialties.

My research focused on Teaching Assistants (TA) in England. In order to conduct effective multi-industry collaboration at schools through policy literature and materials related to TA, visits to DISS and MITA in England, schools, etc., I could make clear: (1) develop a human resource development system for school managers and TA; (2) to establish an operation system for clarifying the job content of TA and to operate them; and (3) to develop a support system for the school outside the school.

研究分野：学校経営

キーワード：イギリス 働き方改革 サポートスタッフ

研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

日本では、中央教育審議会答申（2015年12月）において、「チームとしての学校」という方向性が出され、中教審において働き方改革も含めた具体的な施策の検討が進められている。今後は、多様な人的配置の促進が想定され、多様な専門性を有した人材を活用しながら効果的な学校経営を行っていくことが要求されていく。

そこで本研究では、このような政策及び学校現場の動向を踏まえて、先導的に多様な職種を配置した学校組織を整備したイギリス（イングランド）の取組を分析し、①組織開発、②意思改革、③リーダーシップの3つの視点から、「チームとしての学校」を機能させていくためのマネジメントシステムの要素及び構造を明らかにした上で、日本の現状を踏まえながら、日本版のマネジメントシステムの開発を行うことを目的として開始した。

2. 研究の目的

本研究は、多様な専門性を有した人材によって構成される教職員組織を効果的に活用し、学校の教育効果を向上させるためのマネジメントシステムを開発することを目的としている。

先導的に多様な職種を配置し、学校管理職のマネジメントがそのような学校経営において重視されているイギリスを事例として考察を行った。特に、イギリスにおいて教員以外の職として最も多く配置されているティーチングアシスタント（TA）に着目した。TAがどのような目的で配置され、どのように活用されることにより、学校現場にどのような成果と課題をもたらしているのかを解明することを通して、日本での教員以外の多様な職種を配置することによって効果的な学校経営を行うことを検討するための視座を得ることを目的としている。

3. 研究の方法

研究方法としては、文献研究と、日本及びイギリスでの訪問調査（ヒアリング及びフィールドワークによる調査を設定した。

文献研究では、①教師論や教職論、組織論、経営論等に関する理論研究に関するもの、②日本の教員配置や働き方改革に関する政策動向に関するもの、③イギリスにおける教職員改革、働き方改革に関する政策動向に関するものを収集、分析した。

訪問調査では、1～2年目に国内及び海外（イギリス）でのヒアリング及びフィールドワークをするための学校を選定するための予備調査を行った。しかし、その後のコロナ感染症の拡大により、継続的な訪問調査が困難となったため、国内及び海外調査ともに、オンライン等でのヒアリング調査に止めざるを得なかったため、学校でのフィールドワーク調査はできなかった。

4. 研究成果

研究開始当初は、理論研究をベースにした取り組みを検討するための枠組みを形成し、その枠組みから実際に取り組みられていることをフィールドワークして検討するということを想定していた。しかし、コロナ感染症の拡大により、フィールドワークができなかった。そこで、研究計画を修正し、国内においては、文部科学省等が提供している、働き方改革の実践事例や各種統計データを基に、実態を明らかにすると共に、先行研究等での指摘を踏まえて、日本の現状と課題について整理した。

イギリスについては、教員配置や教育の働き方改革に関する政策動向及び実態の分析に加えて、事例としては TA を活用するための研究 (DISS) 及び、その研究成果を基に開発された MITA プロジェクトに着目した。MITA プロジェクトの取り組みの現状と課題について、開発及び運営に携わる研究者及び MITA プロジェクトに参加している学校へのヒアリング調査等を中心に行った。その成果は、毎年、日本教育経営学会において発表した。

本研究を通して、イギリスにおける学校での効果的な多業種間連携を行うためには、第 1 に、学校管理職及び TA 等の人材育成システムを確立すること、第 2 に TA の職務内容の明確化及び運用のための運用システムを確立すること、第 3 に学校外での学校への支援システムを整備することが重要であったことを明らかにすることができた。

しかし本研究の開始当初は、①組織開発、②意思改革、③リーダーシップの 3 つの視点から、「チームとしての学校」を機能させていくためのマネジメントシステムの要素及び構造を明らかにした上で、日本の現状を踏まえながら、日本版のマネジメントシステムの開発を行うことを目的として開始したものである。コロナ感染症の拡大により、国内外のフィールドワークが十分にできなかったことから、実際のマネジメントシステムの要素や構造まで明らかにすることができなかった。そのため、日本版のマネジメントシステムの開発までの検討を行うことができなかった。

しかし、本研究の学術的意義としては、これまで制度的なことを中心に紹介されてきていたイギリスの教員以外の職の制度について、その制度がどのように学校現場で運用され、どのような成果と課題を有しているかを明らかにしたことである。また、社会的意義としては、働き方改革が進められる中で、教員以外の多様な職が量的に拡大している日本において、その職をどのように効果的に活用して、学校の労働環境整備につなげていくのかという政策課題を検討する際の方向性を提示しているという点にある。

今後は、研究課題として残された点を新たな研究の視点として研究を継続していきたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 植田みどり
2. 発表標題 イギリスにおけるTeaching Assistantを活用した学校経営
3. 学会等名 日本教育経営学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 植田みどり
2. 発表標題 イギリスにおけるサポートスタッフ拡充政策の形成過程 - DISSプロジェクトを事例として -
3. 学会等名 日本教育行政学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 植田みどり
2. 発表標題 教員以外の職を活用した学校改革 - イギリスのteaching assisstantを事例として -
3. 学会等名 日本教育経営学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 植田みどり
2. 発表標題 イギリスにおける Teaching Assistant の役割変容の現状と課題
3. 学会等名 日本教育経営学会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------